

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種目	学年
27-131	高等学校	国語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教科書名		
2 東書	国総 332	新編国語総合		

1.編修の趣旨及び留意点

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。

2.編修の基本方針

- ①適切に表現し、的確に理解する言語能力を育成し、伝え合う力を高める。
 - ・各単元扉に、その単元での学習目標を示すとともに、現代文編では、教材ごとに学習する主な目標も示しました（詩歌単元を除く）。また、「発問」や「学習の手引き」において、学習が効果的に行えるようなポイントを示しました。
 - ・「言語活動編」を設け、その活動と現代文編の教材本文との関連を図ることで、「話す・聞く」「書く」「読む」の学習が、有機的・効果的に行えるようにしました。
 - ・話し合ったり書いたものを読み合ったりする活動を豊富に配置し、更に相互評価する活動を取り入れることにより、伝え合う力を高められるように工夫しました。
- ②論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、言語文化に対して関心を持つ。
 - ・論理的思考力を身につける教材として、評論2単元を用意し、人間・社会・文化などの分野のものをバランスよく採録、配置しました。
 - ・豊かな感性や情緒を育む教材として、小説3単元・詩歌2単元を用意し、さまざまな形式の文学に触れられるようにしました。また、筆者の豊かな感性が表れた随想2単元を配置しました。
 - ・古文編・漢文編でも、各4単元を用意し、論理的思考力を身につけるとともに、豊かな感性や情緒を育み、伝統的な言語文化に対して関心を持てる教材を、時代やジャンルのバランスに配慮して配置しました。
- ③教材本文とコラム・附録とを有機的に関連させ、多様な学習に対応できるようにする。
 - ・現代文編では「評論の読み方」、「詩の読み方」、「小説の読み方」、「随想の読み方」、「短歌の読み方」、「俳句の読み方」、「評論読解 ここに注目！」を設け、それぞれの教材のジャンルに対応した読解の仕方を、教材本文も例に挙げながら、分かりやすく示しました。また、「気になる言い方」(2か所)、「敬語を使う時に」を設け、言葉の正しい使い方を理解し、語彙を豊かにする学習に対応できるようにしました。
 - ・古文編では「古文の窓」(4か所)、漢文編では「漢文の窓」(4か所)をそれぞれ設け、単元や教材で学習した内容を深めたり広げたりできるようにしました。
 - ・古文編では「古文学習のしるべ」(6か所)を設け、古文に関する基本的知識や文法事項を、読むことの学習に即して身につけられるようにしました。
 - ・附録には、「原稿用紙の使い方」「IT時代の文書作成法」「用言活用表」「文語助動詞活用表」「文語助詞一覧表」「古文重要語句」「日本古典文学史年表」「漢文句法・重要語のまとめ」「中国文学史年表」「古典参考図録」などを用意し、多様な学習に対応できるようにしました。

3.対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所	
現代文編	1 随想 1	・伝統文化と現代文化の対立という構図から、社会の発展の在り方について考えたり、自分の生き方について考えたりする素材となる随想を用意しました。(第3号)	→10～15ページ
	2 小説1	・登場人物の会話や行動の描写を通じて、親子の情愛、人と人との心の触れ合いを感じ取ることができる小説を用意しました。(第1号)	→24～35ページ
	3 評論1	・想像力は、他人を思いやるために欠かせない大切なものであり、未来を形作るためにも決して枯渇させてはならない、と警鐘を鳴らす評論を用意しました。(第3号)	→56～62ページ
	4 詩	・P68「空をかついで」、P70「二十億光年の孤独」など、高校生の情操を培うのにふさわしい詩を用意しました。(第1号)	→68～74ページ
	5 小説2	・極限状態にある人間が、正義と悪の間を揺れ動く様子を通じて、正義とは何か、勇気とは何かについて考える小説を用意しました。(第3号)	→80～94ページ
	6 随想 2	・近年見られる里山の荒廃を危惧し、自然と人工の中間に位置する里山の重要性を説いた随想を用意しました。(第4号) ・疎開先の広島で原爆によって亡くなった幼なじみの少年との思い出やその後のいきさつをたどりながら、平和を願い続ける筆者の思いを述べた随想を用意しました。(第4号)	→114～120ページ →121～129ページ
	7 短歌・俳句	・近現代の代表的歌人・俳人の作品を「自然」「青春」といったテーマ別に配列し、伝統的な定型詩を理解し、味わうことができるような教材を用意しました。(第1号)(第5号)	→134～142ページ
	8 働くということ	・調理師として一人前になる道を切り開いた体験談を通じて、働く人の仕事に対する思い、自分の将来の職業等について考えるきっかけとなる文章を用意しました。(第2号) ・腕のいい大工の仕事ぶりを具体例に、古代より人間が培ってきた技術の深さについて洞察する文章を用意しました。(第2号)	→146～151ページ →152～159ページ
	9 小説3	・沖縄戦において、負傷者たちへの献身を貫いて亡くなった看護師の姿を通じて、平和について考える小説を用意しました。(第5号)	→173～196ページ
	10 評論 2	・「美しさ」というのは、花や山といった対象にあるのではなく、それを「美しい」と感じる人間の心のほうにあるのではないかと論じる評論を用意しました。(第1号) ・生きていくうえで、真の意味での自立を身につけていくことが重要であると論じる評論を用意しました。(第2号)	→200～207ページ →208～216ページ
言語活動編	・クラスで自己紹介を行う課題を通じて、他者との協力の態度を養い、自己と他者に対する理解を深める教材を用意しました。(第3号)	→220～221ページ	
	・「里山」というテーマについて、現状や問題点などを調査、発表するとともに、自然について考える態度を養う教材を用意しました。(第4号)	→222～225ページ	
	・「外来語の使用」というテーマで討論し、ルールを守りながら主体的に議論へ参加する態度を養う教材を用意しました。(第3号)	→226～229ページ	
	・事物や情景の表現の背後に心情を表した俳句をつくり、互いに発表して批評し合う句会を開く課題を通じて、表現の工夫や仕方を学び、創造性を培う教材を用意しました。(第2号)	→230～231ページ	
	・「公園の中のごみ問題」というテーマで意見文を書き、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画する態度を養う教材を用意しました。(第3号)	→232～235ページ	

図書の構成・内容		特に意を用いた点や特色	該当箇所
古文編	1 古文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な言語文化を理解するための基礎となる、文語のきまりを解説したコラムを用意しました。(第5号) ・登場人物の言動を通して、個人を尊重し、能力を伸ばすことについて考えることのできる教材を用意しました。(第2号) 	→252～253, 256～257, 262～264ページ →254～255ページ
	2 随筆	<ul style="list-style-type: none"> ・普遍的真理や処世訓などについて述べた教材を用意しました。(第1号) ・作者の美意識と的確な表現に触れ、豊かな情操を培うことができる教材を用意しました。(第1号) 	→266～273ページ →274～275ページ
	3 詩歌	<ul style="list-style-type: none"> ・人々に親しまれてきた詩歌を味わい、ものの見方・感じ方の伝統を理解することができる教材を用意しました。(第5号) 	→282～294ページ
	4 物語	<ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の習俗について、知識が深められるコラムを用意しました。(第1号) ・戦場での登場人物の言動から、他者を思いやる心について考えることのできる教材を用意しました。(第3号) 	→305ページ →306～313ページ
漢文編	1 漢文入門	<ul style="list-style-type: none"> ・熟語や人口に膾炙した格言を通じて、訓読の方法や日本における漢文の受容について知ることのできる「訓読の基本」を用意しました。(第5号) ・漢文についての理解を深める「漢文の窓」を用意しました。(第5号) 	→318～323ページ →330ページ
	2 唐詩	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の雄大さや季節の情景に触れた唐詩を用意しました。(第4号) ・唐詩が日本の文芸に与えた影響を示す訳詩や「参考」を用意しました。(第5号) 	→332～334ページ →333, 337ページ
	3 論語	<ul style="list-style-type: none"> ・学問の重要性、人を思いやる心、社会に対する態度について考える教材を用意しました。(第1号)(第2号)(第3号) 	→342～345ページ
	4 史話	<ul style="list-style-type: none"> ・言動に対して責任を持つことの大切さについて考える教材を用意しました。(第3号) 	→350～351ページ

4.上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 中学校までの学習内容とのつながりを図りやすくするため、教材の採録箇所を工夫しました。(学校教育法第51条1号)
- 日常的に読書に親しみ教養を高めるために、「評論の読み方」、「詩の読み方」、「小説の読み方」、「随想の読み方」、「短歌の読み方」、「**8**働くということ」にブックガイドの欄を設け、ジャンルやテーマに関連する図書を掲げました。(学校教育法第51条2号)
- 社会人として必要とされる国語の能力の基礎を身につけることができるように、現代文編ではコラム「気になる言い方」(2か所)、「敬語を使う時に」(1か所)を設け、言葉の正しい使い方について考えさせる内容を示しました。また「言語活動編」において、スピーチ、調査・発表、討論、通知文、情報の読み取り、実用文などを取り上げました。(学校教育法第51条3号)

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-131	高等学校	国 語	国語総合	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
2 東書	国総 332	新編国語総合		

1.編修上特に意を用いた点や特色

①**目標**…表現力や理解力の育成, 伝え合う力の向上など, 「目標」に示された総合的な言語能力を養うため, 「内容」に示された3領域1事項の学習が効率的・有機的に行えるようにしました。

②**「A話す・聞く」**…「言語活動編」の1～3にスピーチ, 調査・発表, 討論の教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました。

③**「B書く」**…「言語活動編」の4～6に俳句, 意見文, 通知文を書く教材を用意するとともに, 「読む」教材との相互関連を図りました(「通知文」を除く)。

④**「C読む」**…教材については, 「3内容の取扱い」(6)ウの観点に示された事項に留意して選定しました。

・読書については, 「現代文編」の「評論の読み方」や「小説の読み方」などにおいて, ブックガイドを示しました。また, 「**8**働くということ」単元末にも, テーマに関連した図書を掲げました。

・言語活動については, イの情報とウの実用文は「言語活動編」7・8に, アの書き換えとエの読み比べは「古文編」「漢文編」で示しました。

⑤「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

・「古文編」「漢文編」では, 伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるように配慮して教材を選定しました。

・文語のきまり・訓読のきまりは, 読むことの学習に即して取り上げられるように配慮しました。「古文学習のしるべ」や「訓読の基本」などでは, 教材に即して重点的に扱えるようにしました。

・語彙および漢字については, 「現代文編」の各教材末に「漢字と語彙」を示しました。

2.対照表

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
現代文編											
1随想1	海流 ミクロネシア	ウ	エ	ア, ウ	イ(イ), ウ(ア)	10			2	2	
	■気になる言い方①				イ(イ)	22					
	ルリボシカミキリの青	ア, イ, エ/ 【言】ア	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	16	1		2	3	
	【言語】1 スピーチする	イ, ウ, エ/ 【言】ア				220	2				2
2小説1	とんかつ	イ, エ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	24					
	■気になる言い方②				ア(ア), イ(イ)	46			3	3	
	ドライ・クリーニング	イ, エ	ア	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	36			2	2	
	【言語】7 情報を読み取る	ウ, エ		ア, イ, エ, オ/【言】イ		238	1		2	3	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
3 評論1	無彩色の色	ア, イ	ア, イ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	48			3	3	1 学期 33
	■ 評論の読み方			ア, イ, エ, オ		63					
	未来をつくる想像力	ウ, エ	イ, エ/ 【言】イ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	56		2	2	4	
	〔言語〕5 意見文を書く		ア, イ, ウ, エ/ 【言】イ			232		8		8	
4 詩	空をかたいで	イ	エ	ア, ウ	イ(ア)	68			1	1	1 学期 33
	二十億光年の孤独	ウ	エ	ア, ウ	イ(ア)	70			1	1	
	冬が来た	イ	エ	ア, ウ	イ(ア)	72			1	1	
	■ 詩の読み方			ア, ウ, オ		75					
5 小説2	羅生門	ア, ウ/ 【言】ウ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	80	1		4	5	2 学期 37
	〔言語〕3 討論する	ア, イ, ウ, エ/ 【言】ウ				226	4			4	
	ほおずきの花束	ウ	エ	ア, ウ	イ(イ), ウ(ア)	95			2	2	
	■ 小説の読み方			ア, ウ, エ, オ		105					
6 随想2	待つということ	ウ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	110			2	2	2 学期 37
	里山物語	ア, イ, エ/ 【言】イ	イ, エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	114	1	1	1	3	
	〔言語〕2 調査して発表する	ア, イ, ウ, エ/ 【言】イ	イ			222	3	1		4	
	りんごのほっぺ	ウ	エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	121			2	2	
	■ 随想の読み方			ア, ウ, エ, オ		130					
7 短歌・俳句	その子二十【短歌】	イ	エ	ア, ウ	イ(ア)	134		1	1	2	2 学期 37
	■ 短歌の読み方			ア, ウ, オ		143					
	春風や【俳句】	イ	エ	ア, ウ	イ(ア)	138		1	1	2	
	■ 俳句の読み方			ア, ウ, オ		144					
	〔言語〕4 俳句をつくる		ア, ウ, エ/ 【言】ア			230		6		6	
8 働くということ	鍋洗いの日々	ア, ウ	エ	ア, ウ, オ	イ(イ), ウ(ア)	146			2	2	2 学期 37
	手技に学ぶ	イ, エ	エ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	152			3	3	
9 小説3	夢十夜	ア, イ/ 【言】ア	イ, エ	ア, ウ, オ	イ(イ), ウ(ア)	162	1		3	4	3 学期 20
	沖縄の手記から	ア, イ, エ/ 【言】イ	ア, エ	ア, ウ, エ	イ(イ), ウ(ア)	173	1	1	2	4	
	■ 敬語を使う時に				イ(イ)	197					
	〔言語〕8 実用文について考える	ウ, エ		ア, イ, エ, オ/ 【言】ウ		242			2	2	
10 評論2	美しさの発見	ア, ウ	イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	200		1	2	3	3 学期 20
	真の自立とは	イ, ウ	イ, エ/ 【言】イ	ア, イ, エ	イ(イ), ウ(ア)	208		1	2	3	
	■ 評論読解 ここに注目!			ア, イ, エ		217					
	〔言語〕6 通知文を書く		ア, イ, ウ, エ/ 【言】イ			236		4		4	
現代文編 計							15	27	48	90	

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
古文編											
1古文 入門	古文に親しむ			ア	ア(ア)(イ), イ(ア)	246			1	1	1 学 期 8
	児のそら寝			イ, ウ	ア(イ)	250			2	2	
	●古文学習のしるべ1 古文の言葉と仮名遣い				ア(イ), イ(ア)	252			2	2	
	用光と白波			イ, ウ	ア(イ)	254			2	2	
	●古文学習のしるべ2 現代語訳のために				ア(イ), イ(ア)	256			2	2	
	絵仏師良秀			イ, ウ	ア(イ)	258			3	3	
	■古文の窓1 古典から生まれた近現代の 小説を読む			オ	ア(ア)	261			3	3	
●古文学習のしるべ3 用言の活用／係り結び／仮 定条件と確定条件				ア(イ), イ(ア)	262						
2随筆	徒然草			イ, ウ	ア(ア)(イ)	266			5	5	2 学 期 14
	枕草子			イ, ウ	ア(ア)(イ)	274			2	2	
	■古文の窓2 『源氏物語』にふれる			オ	ア(ア)	276			2	2	
	●古文学習のしるべ4 助動詞 助詞				ア(イ), イ(ア)	278					
3詩歌	折々のうた			ア, ウ	ア(ア)(イ), イ(ア)	282			1	6	7
	〔言語〕1 古典と現代の歌を 読み比べる―夜空への思い		イ, エ	ア, イ, ウ/ 〔言〕エ	ア(ア), イ(ア)	293			1	6	7
	●古文学習のしるべ5 和歌				ア(イ), イ(ア)	295					
4物語	伊勢物語			イ, ウ	ア(ア)(イ)	298			1	4	5
	〔言語〕2 古典を自分の言 葉で書き換える		ア, エ	ウ/ 〔言〕ア	ア(ア)	304			1	4	5
	■古文の窓3 恋愛と結婚			オ	ア(ア)	305					
	平家物語			イ, ウ	ア(ア)(イ)	306					
	■古文の窓4 『平家物語』のあらし			オ	ア(ア)	314			4	4	3 学 期 9
	●古文学習のしるべ6 敬語				ア(イ), イ(ア)	316					
古文編 計								2	29	31	
漢文編											
1漢文 入門	訓読の基本				ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)	318			2	2	1 学 期 5
	故事一三編			ア, イ, ウ, オ	ア(ア)(イ), イ(イ)	324			3	3	
	■漢文の窓1 漢文の中での「名前」			オ	ア(ア)	330					
2唐詩	唐詩一八首			ア, イ, ウ, オ 〔言〕エ	ア(ア)(イ), イ(イ)	332			1	5	6
	〔言語〕3 訳詩を書く		ウ, エ/ 〔言〕ア	ア/ 〔言〕ア, エ	ア(ア), イ(ア)	339			1	5	6
	■漢文の窓2 漢詩のきまり				ア(イ)	340					
3論語	論語一八章			ア, イ, ウ, エ	ア(ア)(イ), イ(ア)(イ)	342			4	4	2 学 期 10
	■漢文の窓3 孔子と弟子たち			オ	ア(ア)	346					

単元	教材名	指導事項・言語活動例との対応				頁	配当時数				学期
		話	書	読	伝		話	書	読	計	
4史話	史話一三編			ア, イ, ウ, エ, オ	ア(ア)(イ), イ(イ)	348			4	4	3 学期 4
	■漢文の窓4 乱世の奸雄か、英雄か			オ	ア(ア)	354					
	漢文編 計						0	1	18	19	
	合計						15	30	95	140	
<p>[備考]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見出し欄の「話」は、「話すこと・聞くこと」領域, 「書」は「書くこと」領域, 「読」は「読むこと」領域, 「伝」は「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」を指す。 ・「指導事項・言語活動例との対応」の「話」「書」「読」欄に, 【言】とともに示された記号は言語活動例を表し, それ以外の記号は指導事項を表す。 											